

通告時間 90分

問 道路整備基金の積み増しより、区要望の推進を

答 状況を勘案し、基金の積み増しをしていきたい

道路整備基金の方向性は

問 現在、道路整備基金は2億3千万円ですが今年度中に5千万円追加され、2億8千万円になると聞いていますが、この基金の上限は設けられないのですか。

町長 この基金は将来的に多額の事業を要する主要道路整備等にあてるためです。今後についても財政状況を勘案のうえ、さらに基金の積み増しをしていきたいと考えている次第です。

問 財源がなくて厳しいと聞きますが、無理に5千万円を積み増してもよいのではないですか。5千万円積めるということは余裕があるということですか。

企画財政課長 毎年積まなくてはいいけないというものはありません。今後は本当に厳しい財政状況になると考えますので、積み増していくことは厳しいと考えます。

区からの要望に

問 大きい事業をやるばかりが住民サービスではありません。区からの要望に添える事、道路整備基金を活用して小さな補修をすることも住民サービスであると考えます。今年度、区からの要望件数と金額、うち何件の工事が実施できる予定か、説明をしてください。

都市整備課長 今年度は46の区から260カ所の要望がありました。概算で10億円近くになります。11月末現在68カ所約1億円の金額で要望に対する工事を行っています。この他、区から緊急要請や道路の穴埋めなどに約1億円かかりました。区長要望件数の約4分の3ができない状況です。

問 要望の約200カ所が財源不足でできないのなら、今年度基金に積み予定の5千万円を区要望補修に充てるべきではないですか。

都市整備課長 基金として積み込まないで、来年度使えるのであれば、その分は区要望の工事の上乗せができるかと思えます。

区要望を優先させるべきでは

企画財政課長 道路以外の予算要求も非常に増大しており、財政状況を見ながら判断せざるを得ないと思います。歳入が減り、今年度も非常に厳しい財政状況です。

各区の要望は

問 各区の要望は工事まで何年もかかります。学校からも「子供たちの通学に危険な所の改善」との要望がありました。予算も無く1カ所しかできなかった状況です。それなのに、区からの要望が全く無い、町長宅近辺の道路拡張を、



排水路沿いを通学する児童



菅澤 昌則 議員

町長 今後もそういう面については配慮していきたい。

高津原からの取付け新道とは

問 高津原から新設して取付け道路をつくり、飯笹・西古内線の本線に接続するため、町長がすでに地権者に用地の協力をお願いしているとのことですが、このことは誰も知らなかったことです。すぐ近くには新しい本線道路との交差点ができるので取付け新道は予算面からも問題だと思えますが。

町長 集落内の現道の整備に期待があつて、総合的にそういう方向にいつていることだと、ご理解いただければと思います。

通告時間 60分

問 ワクチンに国の補助が仮になくたって町助成を

答 国の動向に関わらず継続する予定です

ワクチン接種、今後の対応は

問 VPD（ワクチンで防げる病気）の公費助成の拡大、定期接種にむけて制度化をはかってください。小児肺炎球菌・ヒブワクチン、子宮頸がんワクチン接種事業について、国は今年度末までの時限措置としての実施となっております。現状では対象者に十分行き渡ったとはいえない状況であり、継続化を求めます。町の考えは。

町長 現在、小児肺炎球菌・ヒブワクチン及び中学生から高校2年生までの子宮頸がんワクチンは、国と町で2分の1ずつの負担をして全額公費助成で行っています。しかし、平成24年度からは国の補助がなくなるため全額町負担となる予定です。周辺では、今年度いっぱい補助を打ち切る市町村もあるようですが、本町では有効な子育て支援であることから、継続して補助を行う予定です。

ポリオワクチンは、

問 ワクチン接種が位置づけられています。安全性が高い不活化ワクチンを求める声が高まっています。神奈川県では、すでに12月15日から接種にむけ準備が進められています。本町の対応を伺います。

町長 ポリオの不活化ワクチンは、現在、任意接種で行われています。今後、国や県などの動向を見守り、そういう時期がきたら、町医師会と協議の上、実施していきたいと考えています。

保健福祉課長

不活化ワクチン接種について、この周辺で積極的に接種しているのは県立佐原病院だけと聞いています。多古中央病院の小児科では勧めておりません。来年度（H24年度）中には、国内の製薬メーカーの開発見通しもあります。



放課後を学童保育所で過ごす児童たち

学童保育を小学6年生までに

問 学童保育の対象年齢を、小学校6年生まで拡大してください。

町長 現在4年生まで暫定的に引き上げていますが、当面、年齢の引き上げは考えておりません。

小学生の子どもを

問 3月11日の大震災や、度重なる不審者情報や事件もあり、守番させることに、非常に不安を感じている方は多いと思います。夏休みなどの長期休業中や、放課後の安全確保という点で、保護者の不安に添える体制を考えてもらいたいと思います。教育課とも協議して、空き教室の利用などを検討してはどうですか。



石渡 悦子 議員

子ども医療費を自動償還払いに

問 子ども医療費助成の償還払い方式対象学年（小学4年生から中学3年生）については、その都度自治体窓口で手続きが必要になります。自動償還払い方式を取り入れるかどうか。医療機関側で受診データを保管して、自治体に送付するなどの負担があり、医師会・歯科医師会・薬剤師会に協力してもらわなければならないと思いますが、すでに実施している自治体もありますので、窓口での完全無料化に移行するまでの間の措置として検討をお願いいたします。

子育て支援課長 自動償還払い方式については、今後勉強していきたいと思えます。